

決算審査特別委員会

第63号議案・令和2年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定についておよび第64号議案・令和2年度白石市水道事業会計及び下水道事業会計の資本剰余金の処分及び決算の認定についての2議案は、定例会2日目(9月9日)の本会議において質疑が行われた後、議長および監査委員(松野久郎)を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・四竈英夫、副委員長・伊藤勝美)は、9月13日および14日の2日間にわたり審査を行いました。

その結果、第63号議案については、反対および賛成の討論があり、採決の結果、可否同数となり、委員長裁決により認定とし、また、第64号議案については、全会一致で原案のとおり可決及び認定しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

一般会計

総務費

合病院についての意見が一番多く、次にスマートフォン・タブレットの整備、有害鳥獣対策への意見が多かった。

個別の要望で早急に対応が必要なものについては、担当課で措置したものもある。

また、スマイルメールに寄せられた意見を反映させたものとして、特別定額給付金事業において、基準日以後に出生したお子さんに対しても、独自支援

【質疑】市長へのスマイルメールや自治会長との地区懇談会で、どのような意見が出され、また、市政運営に反映されたものがあるか伺う。

【答弁】令和2年8月に開催した地区懇談会では、公立刈田線

策として臨時交付金を使った給付事業の実施に至ったケースがある。

民生費

【質疑】生活保護について、令和2年度は11世帯の減とのことであるが、他市町村では「コロナ禍で生活保護世帯が増えている中、本市において減少となったことについて、どのように分析しているか伺う。

【答弁】人口と比較すると、令和2年度末で8.4%(パーミル)11千分の1、令和元年度末で8.6%とほぼ横ばいである。

生活保護に至る前の段階で、白石市社会福祉協議会委託事業の生活困窮者自立支援事業において、生活困窮者に対する相談、就労や社会復帰についての支援を行なっているが、令和2年度の新規相談件数は131件で、前年度と比較し41件増加している。

これら相談事業での対応や、昨年の特別定額給付金、新型コロナウィルス対策事業での各種

支援金や協力金などにより横ばいの状況となっていると考ええるが、今後とも推移を見守っていききたい。

農林水産業費

【質疑】農産物等販売施設整備運営事業について、おもしろい市場に指定管理者制度を導入したことによる成果について伺う。

【答弁】本年4月から新しい事業者が管理を行なっており、8月末現在の売上額は、昨年度と比較し約50万円増加している。来場者数も昨年以上に上っており、運営状況は良好である。

また、ササニシキの日本酒の酒かすを使ったシエラートなど、新商品の開発を行い、順調に進んでいる状況である。

商工費

【質疑】白石スキー場整備備事業における経営改善支援資金貸付事業は、毎年、雪の関係で非常に不安定な事業となっているが、今後の方針を伺う。

【答弁】スキー場については前事業者から譲渡を受け、NPO法人を立ち上げた時に、2千200万円の寄附を受け、基金を造成している。

この基金により貸付事業を行なっているものであるが、温暖化の影響もあることから、基金の耐力も2、3年くらいは耐えられるよう、検討していきたいと考える。

土木費

【質疑】子育て応援住宅事業について、入居戸数が80戸中約45戸前後で推移しているが、入居率を上げるため、家賃を下げるなどの考えはないか。

【答弁】毎月、市広報紙に募集記事を掲載しているほか、市ホームページ、市掲示板で周知を図っており、こじゅつろう